入 札 仕 様 書

○ 件名及び数量

・電動リモートコントロールベッド　エスパシア　１０台

（パラマウントベッド KA-N1411F）

・ナースコール中継ユニット　１０台

（パラマウントベッド NU-3200）

・ベッドサイドレール　１０セット

（パラマウントベッド KS-161G）

○ 納入期限

令和 ９ 年 １ 月 ３１ 日（日）までに納品・請求・支払を完了

○ 整備納入場所

〒３３７－００１７ 埼玉県さいたま市見沼区大字風渡野４５番地
医療法人社団 協友会
介護老人保健施設 ハートケア東大宮　（２階一般棟居室、３階認知棟居室）

○ その他

入札価格は税抜とし、保守料については含めない事とする。
詳細は別添仕様書を参照。

パラマウントベッド株式会社

PARAMOUNT BED

製品機能仕様書

承認	検印	作成
山野邊 2026.03.31 崇史	佐々木 2026.03.31 邦恭	千葉 2026.03.31 友貴

1. 品名　：電動リモートコントロールベッド

2. 製品規格番号　：KA-N1411F

3. 概要

(1) 本ベッドは、背・膝の角度、高さの調節が単独で操作できる。各動作は、手元スイッチまたはベッドナビ(別売り)操作によりそれぞれ独立した電動アクチュエータで作動する。

(2) 使用者の感電を防ぐため、分割された各鋼板ボトムを等電位接地し、電源ケーブルは保護接地端子(アース端子)を含む3Pプラグとする。

(3) 緊急時には、ピンを取外すことにより背ボトムを下げることができる。

(4) 高さ調節機構は垂直昇降方式とする。

(5) 本ベッドは、抑制帯受(別売り)を用いてベッド側面に抑制帯を取付けることができる。

(6) 本ベッドは、サイドレール受(別売り・オプション品取付孔2箇所を備える)を用いて、ベッド側面中央部にサイドレールを取付けることができる。

(7) 本ベッドは、ベッドリンクケーブル(別売り)を用いて特定のエアマットレス(別売り)と接続できる。これにより、エアマットレスがベッドの背角度変化を自動で検知し、臀部の底着きを防ぐために、自動でエアマットレスの内圧を調整する。

(8) ナースコール中継ユニット(別売り)をナースコールへ接続することで、離床通知、端座位通知、起床通知および見守り通知を行う。

(9) 寸法は別紙図面による。

4. 各部の構成・機能

4.1 ボトム

(1) ボトムは3分割の鋼板ボトムと1分割の樹脂ボトムで構成する。

(2) 鋼板ボトムは主材を鋼板とし、成形絞りにより強度を確保する。また、通気性確保のため、それぞれの鋼板ボトムに複数の通気孔を設ける。

(3) 背・膝・足の各ボトムは、清拭しやすい面形状とする。また、背ボトムと膝ボトム、膝ボトムと足ボトムの連結部は、清拭性に考慮したすき間を設ける。

(4) 背ボトムと膝ボトムの連結部にはギャッチ動作時における体のずれ・腹部圧迫の軽減を図るため、短冊状に構成された屈曲ボトムにより緩やかな曲線を構成し、かつ伸びる機構を有する。

(5) 足ボトムは使用者に適したベッドポジションが確保できるよう、2段階の角度調節機能を有する。

(6) マットレスのずれ下がり・横ずれを抑制させるため、マットレス止めを備える。

4.2 メインフレーム

(1) サイドフレーム上面はオプション品取付孔８ヶ所（片側４ヶ所）を備える。また、頭側にはIVポール取付孔２ヶ所を備える。

(2) （1）のオプション品取付孔は、不安全なすき間が生じることを予防するため、不適切なサイドレール等とベッドの組み合わせを防止したり、不適切な向きや位置にサイドレール等が取付くことを防止する構造とする。

(3) ベッドからの乗り降りや移乗が楽に行えるように、ベッド側面中央部を凹型形状とし、かつサイドフレームをベッド幅方向に縮めることができる構造とする。

(4) ベッドが物品などに接触した場合、接触した物品およびベッドのボトムやメインフレームなどの傷つき防止のため、サイドフレームに樹脂製サイドバンパーを備える。

(5) サイドフレームの樹脂製サイドバンパーは、破損した場合など、単独で交換可能な構造とする。

(6) サイドフレームの樹脂製サイドバンパーは、化粧シートを貼付け装飾する。（R タイプは化粧シート無し）

(7) ベッドの総幅を狭くできるように、サイドフレームをベッド幅方向に縮めることができる構造とする。

(8) フットエンドフレームにサイドレール格納金具を備える。

(9) 手元スイッチコネクタを左右のサイドフレーム（左右各１ヶ所）、およびフットエンドフレーム（１ヶ所）に備え、使用環境に応じて手元スイッチおよびベッドナビ(別売り)1つを接続可能とする。なお、手元スイッチおよびベッドナビ接続位置を変更する際、手元スイッチおよびベッドナビのケーブルがベッド内側の不適切な位置に通され、リンク機構に挟まれて断線・漏電することを予防するため、各手元スイッチコネクタはリンク機構よりベッドの外側に配置されている。

(10) 患者の離床情報、端座位情報、起床情報および見守り情報を伝達するために、ヘッドエンドフレームに、ナースコールへ接続するためのコネクタを備える。

4.3 ベースフレーム

(1) 角型鋼管で構成され、車椅子等の移乗のしやすさおよび看護時における足の安全確保のため、幅方向の寸法をキャスター取付幅寸法より小さくする。

(2) キャスター取付部には、デザイン性および強度確保のため、ダイカストによる受金具を設ける。

(3) キャスターロック作動用連動バーは、ベッド下部の清掃時に、突起物が引っかかる等の邪魔とならず、清掃がしやすいよう長手角パイプに内蔵する。

(4) 車輪径１０ｃｍとし、ベースフレームに取付ける。キャスター操作ステップにより、４輪同時固定（首振り・回転固定）、４輪同時自在の切り替えが行える。キャスター操作ステップは、フットエンドフレーム下部と、足側のキャスター２輪に備え、ベッドの足側および側面から操作できる。

(5) バリアフリー法の勾配基準の上限である 1/12 勾配の傾斜路において、ベッドのベースフレームと路面とのすき間が最も狭くなる傾斜路の頂点でも、ベッドが路面に接触せず走行できる構造とする。ベッドがいかなる床高においても当てはまる。

4.4 キャスター

(1) 車輪の材質は、耐磨耗性・耐老化性・耐油性に優れ、特にワックスによる劣化が少ないポリウレタン樹脂製とする。
(2) ベッドに静電気が蓄積されるのを防ぐため、4輪のうち1輪を帯電防止キャスターとする。

4.5 ヘッドボード・フットボード

以下 木製ボードモダンタイプのみ該当（KA-N1411A/C/L、KA-N1421A/C/L）

(1) 容易に着脱ができ、不用意な外れを防ぐためのストッパーを設ける。
(2) コーナー、および中央上部には傷つき防止のための樹脂製バンパーを備える。
(3) 表面はオレフィン化粧 MDF、芯材はパーチクルボード。中央部に化粧シートを貼り付け装飾する。
(4) ボードの中央部に、ベッドナビ格納部を設ける。

以下 木製ボードベーシックタイプのみ該当（KA-N1411F/H/M、KA-N1421F/H/M）

(1) 容易に着脱ができ、不用意な外れを防ぐためのストッパーを設ける。
(2) コーナーには傷つき防止のための樹脂製バンパーを備える。
(3) 表面をメラミン化粧板(芯材 MDF)、周囲をウレタン塗装仕上げとする。
(4) 伝い歩き等を考慮し、ボードの上部をつかまりやすい形状とする。

以下 樹脂製ボードのみ該当（KA-N1411J/N/R、KA-N1421J/N/R）

(1) 容易に着脱ができ、不用意な外れを防ぐためのストッパーを設ける。
(2) 清拭消毒による劣化等を防止するために、主材料には耐薬品性樹脂を用いる。
(3) 片面に化粧シートを貼付け装飾する。（R タイプは化粧シート無し）
(4) 伝い歩き等を考慮し、ボードの上部をつかまりやすい形状とする。
(5) ボードの両端に手掛穴を設ける。
(6) ボードの中央部に、ベッドナビ格納部を設ける。

4.6 電動アクチュエータおよび電装品

(1) 電装品は、他の機器からのおよび他の機器へのノイズ等による影響、例えば、ベッド自体やベッド周辺の他の機器の故障・誤動作・測定障害などを軽減させるため、クラスⅠ機器（保護接地付）とする。
(2) 手元スイッチコネクタの電圧は、患者および医療従事者の感電に対しての安全性確保のため 5V とする。
(3) 背・膝の角度、高さ調節は、業務の効率化あるいは症状に応じポジション確保が適切に行えるよう、普通・速いの2段階の速度切り替えができる。速いで設定した場合、背上げ・膝上げの傾斜角度は、最大角度まで背の場合は24秒、膝の場合は10秒で動作でき、高さ調節は41cmの調節量を20秒で動作できる。
(4) ギャッチ操作時の患者の圧迫を防ぐため、背・膝ボトムの角度が、通常の動作中に常に90° 以上の角度を確保する制御を行う。

(5) 高さ下げ操作時にはメインフレームとベースフレームまたは床との間で、手や足、周囲の物品などの意図しない挟まれを防ぐため、ボトムの高さが32cmの位置で一旦停止する。その際、ピッピッと警告音を鳴らす。その後、再度高さの下げ操作を行うと、警告音を繰り返し鳴らし、最低位置まで下降する。この際、ベッド動作速度が速いモードになっていても低速モードになる。

(6) コントローラには、故障等を防止するための過電流・過熱等に対する安全対策機能を有する。

(7) 電源プラグは、他の機器からのおよび他の機器へのノイズ等による影響、例えば、ベッド自体やベッド周辺の他の機器の故障・誤動作・測定障害などを軽減させるため、3P プラグを利用する。

(8) 電源コードはキャスターによる踏みつけや不用意な引き抜きに対する強度を考慮し、外形9．2mmのケーブルを使用する。

(9) ベッドの動作開始時および停止時には、患者が感じる衝撃や不快感を軽減するため、緩やかにベッドの動作速度を加速・減速させる制御を行う。

4.7 表面処理

(1) 主要部分の構造材外側の表面処理は、錆防止および表面強度の確保のため、電着焼付塗装および粉体焼付塗装によるダブルコーティング塗装とし、色はホワイトアイボリーとする。

(2) 主要部分の構造材（パイプなど）の内側の錆防止のため、構造材内側の表面処理に電着焼付塗装を施す。

4.8 手元スイッチ

(1) 手元スイッチは、ベッド本体に接続することで、背・膝・高さの単独動作を操作できる。

(2) メモリーボタンを押し続けることで、背・膝・高さが順次自動的に動作し、あらかじめ設定したベッド姿勢に動作できる。

(3) 操作ボタン

① 手元スイッチの操作ボタンは、矢印（↑・↓）や文字により上げ下げの表示をし、指で触って識別できるよう上げボタンに突起を設ける。

② 操作ボタンは、使用者が動作部位を判別しやすくするために、ボタン周りの色を動作部位ごとに色分けする。

③ 意図しない操作による挟まれ防止などの安全確保のため、手元スイッチのボタンを2つ以上同時に押した場合、誤操作とみなし動作を停止する。

(4) 表示パネル

① 手元スイッチは、表示パネルを設け、背・膝の角度、高さを表示する。省エネのため、表示パネルは各操作から20秒後に表示内容を自動的に消去する。

② 異常時には、表示パネルに異常箇所を判断するためのエラーコードを表示する。

③ 医師・看護師やベッドメンテナンス従事者が手元スイッチの交換時期の目安を確認できるように、表示パネルにレンチマークを表示する(設定中のみ)。

(5) 電源ランプ・絵表示ランプ

① 電源ランプの色・状態でベッドの状態を確認できる。緑点灯：正常、赤点滅：エラー状態、橙点灯：離床 CATCH が通知オンの状態となる。

② 電源ランプおよび絵表示ランプにより、暗闇でも手元スイッチの位置・ボタンを確認しやくする。

③ ベッドが最低床高になると、高さの絵表示ランプが白色から橙色点灯に切り替わる。点灯色により、夜間などの暗所やベッドから多少離れた位置からでも、手元スイッチを操作せずに、最低床高になっていることが確認できる。

④ 高さ下げ操作時にはメインフレームとベースフレームまたは床との間で、手や足、周囲の物品などの意図しない挟まれを防ぐため、動作途中に一旦停止する。その際、ピッピッと警告音を鳴らす。その後、再度高さの下げ操作を行うと、警告音を繰り返し鳴らし、高さの絵表示ランプが白点滅しながら、最低位置まで下降する。この際、ベッド動作速度が速いモードになっていても低速モードになる。

(6) 設定ボタン

① 手元スイッチは、設定ボタンを設け、各設定に対応した操作ボタンを操作することで、各設定の変更ができる。d

② 誤操作の防止や症状に応じて操作禁止をするため、手元スイッチで操作部位ごとに操作禁止・有効の設定ができる。なお、絵表示されたランプの点灯・消灯でその状態が確認できる。

③ 手元スイッチで操作音(動作の開始を確認するため、操作ボタンを押した瞬間にピッと音が鳴動する)のオン・オフの設定ができる。なお、設定中のランプの明暗により設定状態を確認できる。

④ 背・膝の角度、高さ調節は、業務の効率化のため、「普通・速い」の2段階の速度切り替えができる。なお、設定中のランプの明暗により設定状態を確認できる。

⑤ 夜間にまぶしくならないように、一定時間操作なしの状態が続いたら絵表示ランプを消灯する。また、加速度センサを搭載することで、手元スイッチを持ったときに絵表示ランプが点灯する。

⑥ 設定ボタンといずれかの操作ボタンを2つ同時に長押しすることで、設定情報をすべて初期化することができる。

⑦ 電源をオフにしても各設定情報を保持する。

(7) ベッド取付部

① 手元スイッチにプラグを用い、ベッド本体の手元スイッチコネクタに向きによらず本体に接続できる。

② 手元スイッチのコードが床面に垂れ下がり、つまずきや不衛生の原因とならないように、コードにはカール構造を採用している。

③ 手元スイッチは、フックを備え、ヘッドボード等への取り付けができる。

④ 手元スイッチの本体、フック、カールコードは個別に交換できる。

PARAMOUNT BED

パラマウントベッド株式会社

2022年12月12日作成

製品機能仕様書

※これは当社の製品機能仕様書です。下線部には産業財産権等が含まれております。

1. 品　名　　：　ベッドサイドレール

2. 製品規格番号　：　KS－161G

3. 概要

(1)　本製品はベッドのサイドフレームに取り付け、ベッド上からの寝具や身体の落下防止を目的としたものである

(2)　寸法は別紙図面による。

4. 各部の構成・機能

(1)　隙間に身体が挟まらないように鋼管を配し、枠組みする。

(2)　上部両端部には、樹脂製部品を配して鋼管屈曲部の曲率半径を減らし、ベッドサイドレール及びベッドのボードとの隙間へ身体が挟まりにくくする。

(3)　差込部は樹脂製キャップを配し、取り付け・取り外しがしやすいようにする。

5. 表面処理

(1)本体枠の表面処理は構造内側の錆防止及び表面強度確保のため、電着焼付塗装及び粉体焼付塗装によるダブルコーティング塗装とする。平均的な塗膜厚みは 40μm以上とし、色はホワイトアイボリーとする。

パラマウントベッド株式会社

PARAMOUNT BED

製品機能仕様書

承認	検印	作成
下川 2023.6.12 真人	立川 2023.6.12 智一	河辺 2023.6.12 杜生

1. 品名　　：ナースコール中継ユニット（デジタル式）

2. 製品規格番号　：NU-3200

3. 概要

(1) 本製品は，離床 CATCH 付きベッドで検知したベッド上での使用者の状態やベッド操作スイッチのナースコール補助ボタンの呼出をナースコール側に通知すること（以下，発報），及び離床 CATCH の通知機能設定を行うことを目的に作られた機器である。

(2) 離床 CATCH 付きベッドと病院既設のナースコールコンセントに接続することで，発報及び通知機能設定を可能とする。

(3) 病院既設のナースコールボタンを本製品に接続することで，ナースコールボタンの信号をナースコールコンセントへ分岐可能とする。

(4) ナースコール補助ボタン付ベッドに接続することで、ベッド操作スイッチのナースコール補助ボタンからの呼出をナースコール側に発報可能とする。

(5) フックを用いることで，ベッドヘッドボード等への設置を可能とする。

4. 各部の構成・機能

4.1 ナースコール中継ユニット本体

(1) 通電状態を表示する電源ランプを有する。電源オンの場合は点灯し，電源オフの場合は消灯する。

(2) エラー状態を表示するランプを有する。本体あるいは接続しているベッドのエラーを検知した場合は,エラー内容によって電源ランプおよび各種ランプが点滅することにより,エラー内容を判別可能とする。

(3) 患者による意図しない操作を防止するため,ロックボタン操作により設定変更の可否を切り替えることを可能とする。ロック解除状態で１５秒間ボタン操作が行われない場合は,設定した内容は反映されずにロック状態に切り替わる。

(4) ロック状態を表示するランプを有する。ロック状態の場合は消灯し，ロック解除状態の場合は点滅する。

(5) 通知オンボタン操作により，通知機能をオンに切り替えることを可能とする。

(6) 通知オフボタン操作により，通知機能をオフに切り替えることを可能とする。

(7) 通知機能状態を表示するランプを有する。通知機能オンの場合は点灯し，オフの場合は消灯する。発報後は通知の再設定がない限り点滅する。

(8) 一時停止ボタン操作により，通知機能を3分間一時的に停止させることを可能とする。3分経過後は自動的に通知機能がオンに切り替わる。一時停止中に一時停止ボタン操作された場合は、一時停止の解除を可能とする。

(9) 一時停止状態を表示するランプを有する。一時停止中は点滅し,それ以外は消灯する。

(10) 見守り/離床/端座位/起きあがりボタン操作により，離床 CATCH の機能設定を切り替えることを可能とする。

(11) 機能設定状態を表示するランプを有する。

(12) 見守り/起きあがりボタン操作により，離床 CATCH の時間設定を切り替えることを可能とする。

・見守り時間　　…　「1 分，3 分，5 分，10 分，30 分」

・起きあがり時間　…　「0 秒，1 秒，3 秒」

(13) 時間設定状態を表示するランプを有する。

(14) 体重ボタン操作により，以下の離床 CACTH 体重設定を切り替えることを可能とする。

「30～45kg，45～75kg，75kg～」

(15) 体重設定状態を表示するランプを有する。

(16) 離床 CATCH 付きベッドで検知した下記使用者の状態をナースコール側に通知し、ナースコールシステム側で表示することを可能とする。

・見守り　　… ベッドから患者が離床して設定時間が経過したとき。

・離床　　… ベッドから患者が完全に離床したとき。

・端座位　　… ベッド上で端座位をとったとき。

・起きあがり … ベッド上で患者が起き上がったとき。

・離在床情報 … 使用者の離床・在床の情報を表示

（いずれの機能設定においても表示される。ただし，ナースコールシステムのタイプによっては対応できない場合がある。）

(17) ナースコール補助ボタン付ベッドに接続することにより、ベッド操作スイッチのナースコール補助ボタンからの呼出をナースコール側に通知可能とする。

(18) ナースコールボタンコネクタと既設ナースコールボタンを接続することにより,ナースコールボタンによる発報を可能とする。

(19) ベッドに接続されている他操作機器（手元スイッチ,ベッドナビ,ナースコントロールパネル）との通知機能設定の整合を可能とする。

(20) ベッドに接続されているベッドナビとの一時停止設定の整合を可能とする。

(21) ケーブル類が接続可能なコネクタを設け,ケーブルが破損した場合など，ケーブル交換を可能とする。

(22) フックを備え，ベッドヘッドボード等への取り付けを可能とする。破損した場合は,フックの交換を可能とする。

4.2 ケーブル類

(1) ケーブル類は,ナースコールコンセントケーブル，中継ケーブル，ベッドケーブルで構成する。

(2) ナースコールコンセントケーブルと中継ケーブル接続部に中継コネクタを設け,ベッド移動時などケーブルが引っ張られた場合にコネクタ部が外れることでケーブルの断線を防止する。